

民意を踏みにじり 「戦争法案を強行採決！」



法案は5月14日に閣議決定され、5月26日から衆院で審議が始まりましたが、安倍首相が野党議員の質疑に対して「早く

安倍内閣の暴挙は認められない

集团的自衛権の行使容認を含む安全保障関連法案の採決を巡って、野党は徹底抗戦を続けましたが、9月19日の参議院本会議で民意を踏みにじる強行採決が行われ、自民、公明の与党中心による賛成多数をもって可決・成立されました。こうした安倍内閣の暴挙には、今なお多くの抗議の声が上がり、平和と民主主義を守る闘いの強化が求められています。今号は、①安全保障関連法に対する平和と民主主義を守る闘いの強化について、②電気協議会交流会、③さようなら原発さようなら戦争・全国集会、④新橋支部・大井町駅分会主催、国労復帰歓迎会、の報告とします。

また、自民党若手議員の勉強会では、「マスコミを懲らしめるには広告料収入をなくせばいい」「沖繩の2つの新聞は潰さないといけない」とい

審議が中断しました。野党の質疑に対して、論点が拡散してともに答弁ができない、閣僚の答弁

6月4日には、衆院憲法審査会で自民党推薦の長谷部早大大学院教授を含む3人の憲法学者が法案を「憲法9条違反」と指摘しました。6月22日には、国会の会期を9月27日まで、過去最長となる95日間の延長を決定しました。

8月3日には、講演で「法的安定性は関係ない」と発言した儀崎首相補佐官が参考人として招致され、その中で発言を取り消して謝罪しました。

質問しろよ」などと野次を飛ばして謝罪するなど混乱を極めました。

7月16日、国民に理解ができる審議がされぬままに、法案が衆院で可決され、参院に送付されました。7月27日から参院で審議入りしましたが、

世論の6割が戦争法案に反対している中で、強行採決をした安倍内閣の暴挙を認めるわけにはいきません。

平和と民主主義を守る闘いの強化を

5月末から約4ヶ月に亘った審議では、集团的自衛権の行使容認が「合憲」か「違憲」かの激しい論戦が行われてきました。浜田元最高裁判事は、「憲法上許されない」と

憲法9条を踏みにじる集团的自衛権の行使容認で、日本は自国への攻撃の有無に関わらず、武力行使が可能になりました。

新たな局面に入り、戦後一貫してつらぬかれた、平和と民主主義の闘いをこれからも一層強化していかなくてはなりません。

とを真っ向から批判しました。政府が見解を、政府が行使容認の根拠としていることを真っ向から批判しま

したが、安倍首相は「一人私人」と切り捨てた上、安全保障環境の悪化を理由に「正当性、合法性には完全に確信を持っていない」と述べ、立憲主義に大きな傷を残しました。

でも連日に亘って座り込みや集会が取り組まれました。安全保障関連法案を巡って、各地の団体が談話や声明を出しています。憲法学者の多くが「憲法違反」と主張している中で、合憲か改憲かの論争の場が訴訟により法廷に移る動きもあります。



組合員の購読料は(組合費に含まれます)
港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

No. 770 定価 20円

2015年 10月15日



QRコードからでも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

電気協議会 組織拡大に向けた 対策交流会

9月27日・28日 開催!



9月27日～28日にかけて大宮市において、電気協議会主催で初めて組織拡大に向けた交流会が開催されました。上部機関や各地方代表者と平成採用の若手組合員5名を含めた20名が参加し、「若手が職場の問題を解決したい」と思える環境作り、それを年配者が支える取り組みを行うことで職場の中で輪を広げる」ことをテーマに議論がなされました。

また東日本本部・武田組織部長から「定期委員会で重要課題である組織拡大に結び付けていく事を全体で確認してきた。職協単位で交流会を開催して情勢認識を一致させ、職場で自信を持って声をかけて行ける状況を作って頂きたい」と報告があり、東日本本部・彦

田青年部長からは「青年労働者が8年連続で新規加入している。昇進では平成採用者の運転士や、社会人採用者の主任合格者など、和解以降の変化がある。取り組みの中で他労組との違いを見せる大切さや、時間をかけて説明をする必要があると感じている。青年部として昨年、労働条件改善の本社交渉を16年ぶりに行った。今後も職場改善要求をする中で、もっと話を理解を深めてもらいたい」と報告がされました。

その後、各地からの職場報告や若手からの報告を受けました。その中で、「働き続けるために職場を良くする」という願いは共通しています。自分と鉄道の未来のために、仲間を増やす行動を実行しましょう。(電気協議会発表)

9月29日に新橋支部・大井町駅分会主催の「小池将仁さん国労復帰歓迎会」が開催されました。堀内分会書記長の司会で始まり、小川分会長から「歓迎します。非常に嬉しい」という率直な歓迎の挨拶をはじめ、新橋支部・東京地本・東日本本部からも喜びと歓迎の挨拶が続きました。

小池さんは、東日本ユニオンからの復帰ですが、「元々新橋支部内に入った事もあり、すんなり仲間に入れる環境にはありました。本人からは「赴任当日に国労の方々から飲み会に誘われて嬉しかった。当日から国労加入を誘われたが、いろいろながらみもあり、整理をしてからの加入となった。職場労働条件の改善や組織拡大にも取り組み頑張りたい」と決意が表明されました。

最後に東京地本・佐藤組織部長から国労手帳とバッジが手渡されました。曰く「国労バッジは持っている。やっぱりバッジは捨てられなかった」と語っていたのが強く印象に残りました。こうした仲間が周りに沢山います。国労を問わずも抜けた仲間を誘い、大胆に国労復帰を呼びかけましょう。

9月23日 さよなら原発 さよなら戦争 全国集会

2万5千人の 抗議の声

9月23日に「さよなら原発さよなら戦争全国集会」が東京・代々木公園で開催されました。集まった人たちは8月11日の鹿児島・川内原発の再稼働を皮切りに、各

地で推し進められている原発の再稼働反対とともに、民衆の声を無視して強行採決された戦争法の廃止を訴えました。国労からも多くの組合員が集結し、2万5千人(主催

者発表)の参加者で会場が埋まりました。集会後にはデモ行進が行われ、多くの参加者が原発再稼働や安倍政権への抗議の声を上げながら、街行く市民へアピールを行いました。



最新のがん保険、**新登場。**

アフラック

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
(引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日

